

## 第3学年特別活動（学級活動）学習指導案

日時 平成16年9月13日（月）5校時

場所 3年1組教室

児童 3年1組 男15名 女13名 計28名

指導者 川原直也

### 1 題材名 学級の生活を見直そう

### 2 題材について

#### （1）題材について

本題材は学級生活をよりよいものにしていくために選んだ議題について話し合い、それをもとに実践につながる活動である。2学期が始まったばかりではあるが、係の活動や当番の活動がスムーズに行なわれていないことが多く見られる。学級会に向けた学級役員の話し合いの中で、「係や当番の活動がうまく行なわれていない」という意見が多く、係の活動に注目し「最近の係活動について」を提案することに決めた。話し合いでは、普段の活動を振り返り、いいところや困っているところなどを出し合い、どうすれば「工夫して」活動ができるのか、めあてを決めてすすめるように考えさせたい。そして、一人一人が高い意識をもって実践していくことにつなげたい。

このように、自分達の生活のことについて話し合い、決定し、実践していく活動を行なうことで、意欲を持って自分達のことを自分達で決定していく、自主的、実践的な態度が育つのではないかと考える。また、自分たちの生活のことを考え実践していくことで、学校生活そのものに対する期待や意欲が高まっていくと考える。さらに、実践の場における子ども同士の関わり合いの中で、集団の一員としての自覚や集団生活における社会性が育つのではないかと考え、本題材を設定した。

#### （2）児童の実態

学級の子ども達は、明るく元気で素直な子ども達である。班活動、係活動だけではなく、休み時間にも友達と仲良く活動している。4月に学級編成が行なわれ、新しい担任、新しい友だちと出会い、元気に学校生活を送り始めた。7月には、女子1名が転出、男子1名が転入することとなり、みんなで思い出に残るような会を開こうと計画を立て実行することもできた。係活動や当番活動は、積極的に取り組もうとする子どもが多いが、仕事を忘れてたり楽な仕事ばかりを選んだりする子どもも見られる。また、自己中心的な発言や行動をとる子ども、主体性が見られない子ども、「自分さえよければ他の人はどうでもよい。」「自分がよければ他の人もよいはずだ。」という意識を持っている子どもも少なくはない。

話し合いの形態については次第に慣れてきており、議長団による議事の進行も、助言を受けながらではあるが、基本的な進行ができるようになりつつある。しかし、話し合いの中で同じ内容の発言の繰り返しや自分の考えを公表できずに時間を費やしたり、友達の発言にわからないことがあっても質問せずに話し合いを進めてしまったりして、深まりのない話し合いになることが多い。また、自分の考えを積極的に話そうとする子どもが少ないことや、自分の考えと比較しながら聞いている子どもが少ないことも、話し合いが深まらないことにもつながっていると考える。

#### （3）指導にあたって

自分の考えをもって意欲的に話し合いに向かわせるために、事前に自分の考えをカードに記入しておくことにする。また、話し合いの中で自分の経験や具体的な事例を挙げて発言している子どもがいたときは、それを取り上げて広めるように支援していきたい。話し合いが停滞した場合、視点が違って来た場合などは、新たな話し合いの視点を与えたり、近くの子どもと話し合う時間を与えたりして互いの考えが深まるように支援していきたい。話し合いの終末には、自分のよさを振り返らせたり、友達の良さに気づかせたりする時間をとり、次の活動への意欲づけとしたい。最後に教師から、話し合いのよかった点やがんばった子どもを賞賛し、次への活動の意欲を高めたい。

実践の段階では、がんばっている子どもの活動の様子や友達と協力しながら活動している子供の様子をみんなに紹介するなどして、自分の役割に意識をもたせ、一人一人が意欲を持って活動できるように支援していきたい。

### 3 本題材のねらいと評価規準

#### (1) 本題材のねらい

学級生活を見直し、学級の課題に関心を持ち、話し合い、実践していく活動を通して、学級生活における問題を自主的・実践的に解決していこうとする態度を育てる。

#### (2) 本題材の評価規準

| 関心・意欲・態度  | 思考・判断  | 技能・表現   | 知識・理解  |
|---|--|---|--|
| 学級や学校の生活の充実と向上を目指して、学級内の組織づくりや仕事の分担処理など、身の回りの諸問題に関心を持ち、友達と協力して意欲的に取り組もうとしている。 | 学級の一員としての自覚をもち、友達と協力しながら、学級や学校の生活の充実と向上を目指して諸問題の解決について考え、判断している。 | 話し合いの活動などにおいて、自分の考えを発表し、友達の考えと比較したり、役割を分担したりして活動することができる。 | 話し合いの活動や係・集会などの実践を通して、学級内の組織づくりや生活上の諸問題の解決方法を理解している。 |

### 4 活動計画

| 月/日                  | 活動内容                       | 教師の支援   | 評価 |   |   |   |
|----------------------|----------------------------|---|----|---|---|---|
|                      |                            |   | 関  | 思 | 技 | 知 |
| 9/7<br>昼休み<br>(学級役員) | 次回の話し合いの議題選定をし、計画を立てる。     | ・現在の学級にとって適切な議題か考えさせる。<br>・みんながわかりやすい議題にすることと、わかりやすい提案理由や話し合いのめあてを考えるように助言する。 |    |   |   |   |
| 9/7<br>帰りの会<br>(全員)  | 学級役員が次回の話し合いの議題と提案理由を発表する。 | ・話し合う内容について、自分の考えをもてるように助言する。<br>・自分の考えをもつために、日常の活動の様子を振り返ってみよう助言する。          |    |   |   |   |
| 9/9<br>朝の会(全員)       | 議題に対する自分の考えを話し合いカードに記入する。  | ・話し合う内容について、自分の考えとその理由がわかるように記入させる。   |    |   |   |   |
| 9/9<br>放課後<br>(学級役員) | 学級会の準備と話し合いの進め方について確認する。   | ・みんなの考えを確認し、進め方、決定の仕方、板書の際に気をつけることなどについて助言する。                                 |    |   |   |   |
| 9/13<br>学級会(本時)      | 話し合いを行い、めあてを決定する。          | ・話し合いが深まるように、適宜助言をする。   |    |   |   |   |
| 9/14以降<br>(全員)       | 決定しためあてを掲示し、活動を実施する。       | ・話し合いで決まった新しいめあてをもとに、一人一人の役割に意識をもたせ、実践活動への意欲づけを行なう。                           |    |   |   |   |
| 10月上旬<br>(全員)        | 実施している係活動を振り返る。            | ・めあてをもとに活動しているか振り返らせる。  |    |   |   |   |

5 本時の活動

(1) ねらい

日常の係活動の様子を振り返り、工夫した係活動が行なえるように話し合う中で、学級生活をよりよくしようとする意欲をもち、実践できるようにする。

(2) 展開

|            | 活動の流れ                    | 児童の活動   | 指導上の留意点, 評価   |
|------------|--------------------------|---|---|
| 導入         | 1 はじめの言葉                 | 議長の合図で話し合いを開会する。  | 話し合いへの心構えができているか確かめ、必要に応じて個別に声がけをする。進め方カードに沿って進めさせる。  |
|            | 2 司会グループの紹介              | 議長団が話し合いの係を紹介する。  |   |
|            | 3 議題の確認                  | 議題を確認する。  |   |
| 最近の係活動について |                          |   |   |
| 7分         | 4 提案理由の確認                | 提案者が提案理由を述べ、確認する。   | 提案理由、話し合いのめあてをきちんと確認させ、話し合うことを明確にさせる。話し合いの見通しを持ち、意欲を持つことができるか。(関・意・態)【観察】   |
|            | 5 話し合いのめあての確認            | 話し合うことを明確にできるよう、めあてを確認する。                                   |   |
| 話し合い       | 6 話し合い<br>いいところや工夫していること | 意見を交流する。<br>それぞれがカードに記入してきたことを発表する。<br>友達の考えを自分の考えと比べながら聞く。 | 子ども達の力で話し合いが進められるよう、司会グループと事前にポイントを確認しておく。<br>友達の考えを聞きながら、自分の考えを発表することができるか。<br>(技・表)【発言】<br>できるだけたくさんの子どもが発言できるように、適宜中間指導しながら助言していく。<br>日常、他の係活動を見ている中での自分の考えを発表させる。<br>友達の考えに対する感心や納得などの反応を積極的に取り上げる。<br>出された意見を参考にしながら、これからできる具体的なめあてを決めるよう助言する。<br>話し合いで出された意見をもとに、これからのよりよい活動につながるようなめあてを決めることができたか。<br>(思・判)【観察・発言・カード】 |
|            | こうしてほしいことやアイデア           | 他の係活動を見ている中でこうしてほしいことやアイデアを発表する。                            |   |
|            | これからのめあて                 | どうすれば工夫した係活動を進めることができるか、グループで話し合い、めあてを決め、カードに記入する。          |   |
| 30分        |                          |   |   |
| まとめ        | 7 ふりかえりタイム               | 話し合いを振り返り、「ふりかえりカード」に自己評価、相互評価をする。                          | 「ふりかえりカード」を活用して、自己評価、相互評価をさせる。<br>自分のがんばりや友達のよさを見つけることができたか。<br>(知・理)【ふりかえりカード】   |
| 8分         | 8 先生から                   | 議長の合図で話し合いを開会する。  | 話し合いの仕方や態度、発言内容、司会グループの進め方について賞賛し、実践への意欲を持たせる。  |
|            | 9 終わりの言葉                 |   |   |

(3) 板書計画

第十回 学級会

議題

さいきんの係活動について

めあて

話す人をよく見て聞き  
自分の考えを進んで発表しよう

一、いよいよやるや工夫しているところ

一、いろいろな係活動の様子を写真や動画で発表しよう

二、いよいよやるやめあて

# 3年1組 学級会カード

名前 \_\_\_\_\_

|              |  |
|--------------|--|
| 話し合うこと       |  |
| 話し合いの<br>めあて |  |
| 《 》          |  |
| 《 》          |  |

# 3年1組 学級活動ふりかえりカード

名前 \_\_\_\_\_

今日の活動をふりかえりましょう。

(よくできた , できた , もう少し )

|   |                                |  |
|---|--------------------------------|--|
| 1 | さいごまで進んで活動できましたか。              |  |
| 2 | 友だちの話をよく聞いて、自分の考えをもつことができましたか。 |  |
| 3 | 考えたことを発表したり、まとめたりすることができましたか。  |  |
| 4 | 活動したことで、これからどうしたらいいかわかりましたか。   |  |

感想や友だちのよかったところを書きましょう。